

## 2 事業内容

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			経常収支比率は目標値を達成することができましたが、人口減少等の要因により水道事業、簡易水道事業ともに料金収入が減少傾向にあり、また老朽化施設への対応も増大していくことから経常収支比率の低下が懸念されます。						
上記の課題解決のための有効策			水道事業、簡易水道事業の現在の経営状況を的確に把握し、今後行うべき老朽化対策などについて長期的な展望のもと計画的に行っていく必要があります。						
次年度に向けての取り組み			令和元年度は飯田市水道ビジョン、飯田市水道事業経営戦略のローリングの年です。 今後行うべき老朽化対策などの投資計画及びその財源、料金収入などを適正に見込み、安定的な経営を続けられるようそれぞれの計画を見直します。						